

# 布引だより



～ 一人ひとりがキラリ輝く布引の子 ～

布引小学校ブログもご覧ください→  
<http://www2.higashiomi.ed.jp/nunosyo/>

学校評価に関する保護者の皆様へのアンケートのご協力ありがとうございました。アンケートの集計ができましたのでお伝えします。

学校として、見直さなければならないことはしっかり反省し、すぐにでも取り組んで成果が出ること、長い目で見て（3年後を目途に）改善や指導を積み重ねなければ結果を出すのが難しいことに分け、協議を行いました。話し合った内容は結果の後ろに掲載しました。

アンケートの集約は、上段：一昨年度、中段：前年度、下段：今年度となっています。

昨年度と比べた変化を○□△▲に分別化し、項目の最初に示しています。

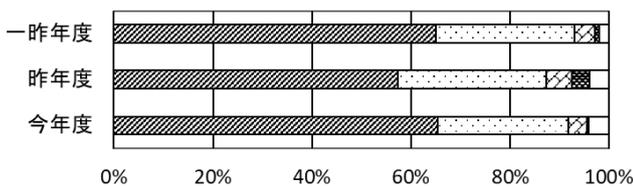
- 肯定的評価3%以上増加    △否定的評価3%以上増加    ▲否定的評価5%以上増加
- 横ばい

- A…そう思う    B…どちらかといえばそう思う
- C…どちらかといえばそう思わない    D…そう思わない
- E…無回答

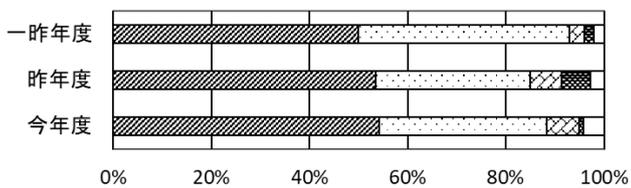
## 学校生活

### 児童

○わたしは、友だちと遊んだり勉強したりして  
 楽しく学校に通っています

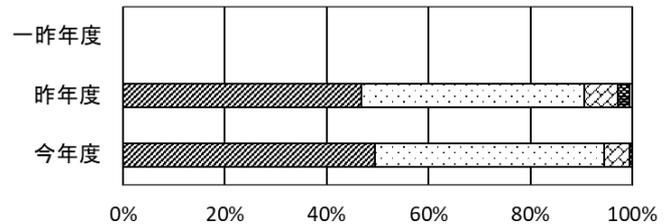


○わたしは、「おはよう」「さようなら」など、しっ  
 かりあいさつをしています

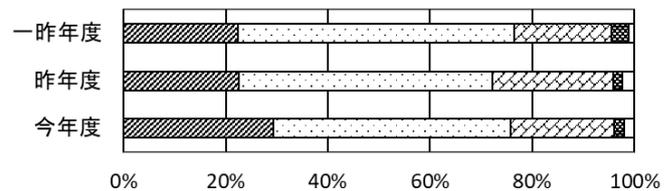


### 保護者

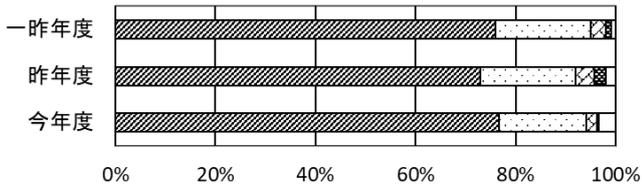
○わが子は楽しく学校に通っている



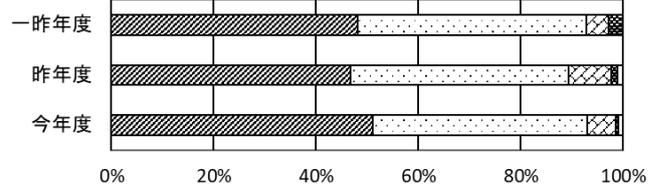
○わが子は家庭や地域、友だちに対してしっ  
 かりとあいさつができる



□わたしは、友だちに助けられたときには「ありがとう」と伝えています

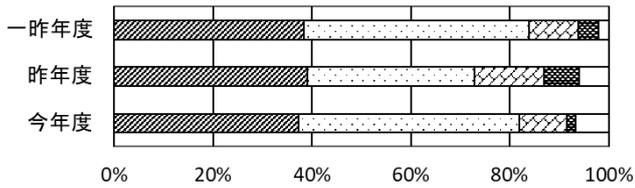


○わが子は人に助けもらったときなどに「ありがとう」と伝えることができる

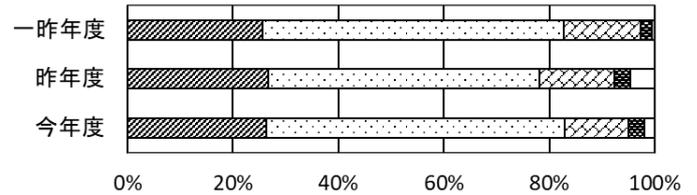


学習

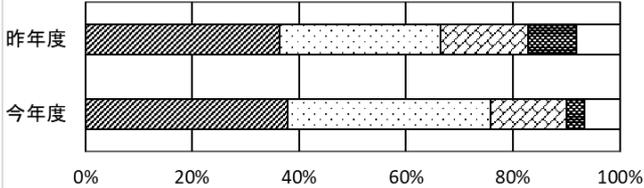
◎わたしは、授業でめあてをもって取り組み、よく考えています



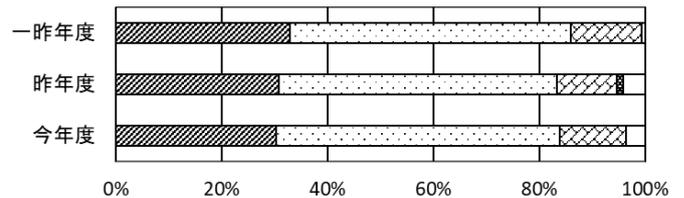
○わが子は日々、学習内容が定着し、学力が向上している



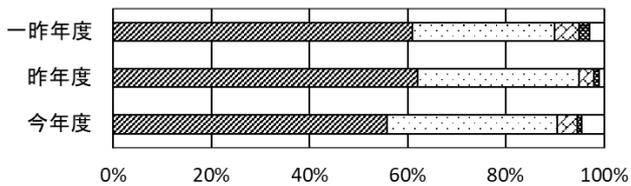
◎わたしは、授業中わからないことやふしぎに思ったことを、聞いたり調べたりしています



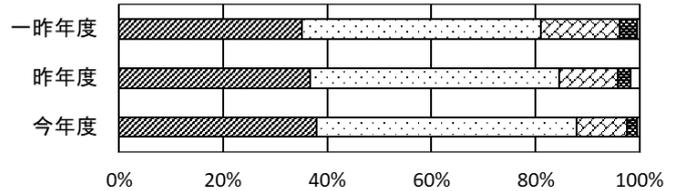
□わが家では宿題や自主学習などの家庭学習に取り組めるよう支援している



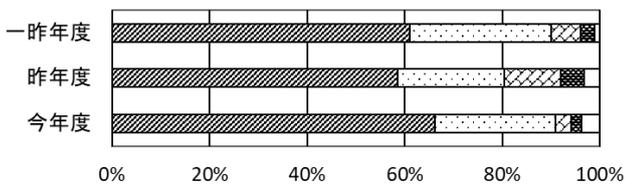
▲わたしは、行事や授業中とちゅうであきらめないで、最後まで取り組んでいます



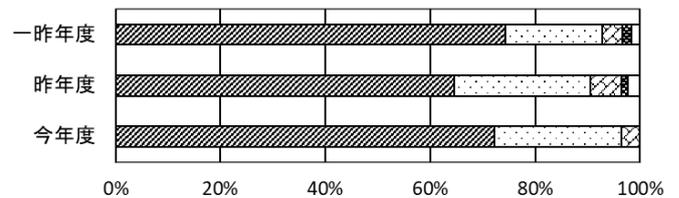
○わが子は、日々の学習や活動に粘り強く取り組み、最後までやり抜こうとしている



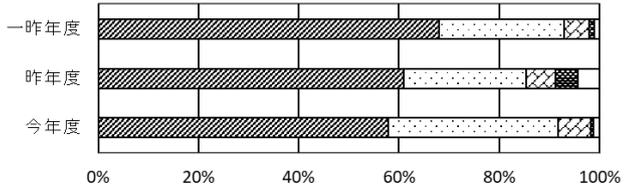
◎わたしは、係活動やクラブ、委員会活動にがんばって取り組んでいます



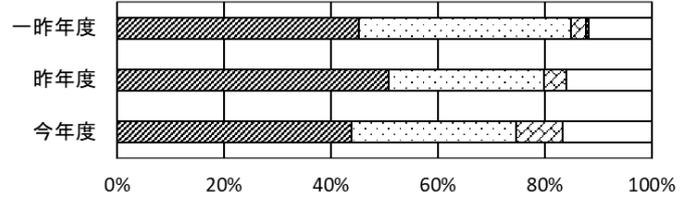
◎わが子は、校外学習などの行事やクラブ活動などの特別活動を楽しみにしている



◎わたしは、朝読書やスキルアップにしっかり取り組んでいます

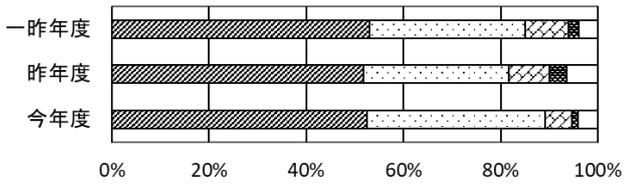


▲学校は観劇や地域の名人を招くなど団体・地域人材を教育活動に生かしている

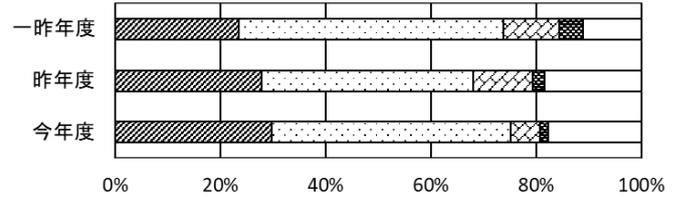


安全・その他

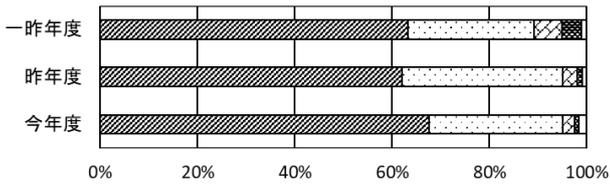
◎わたしは、いじめのないクラスになるよう言葉や行動に気をつけています



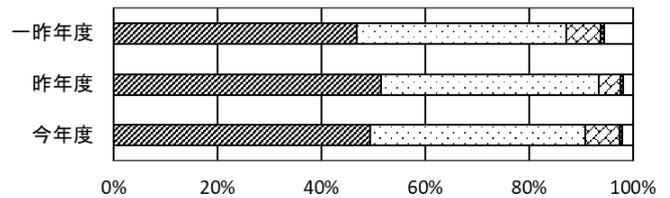
◎学校は一人ひとりに気を配り、いじめのない学級や学校づくりに努めている



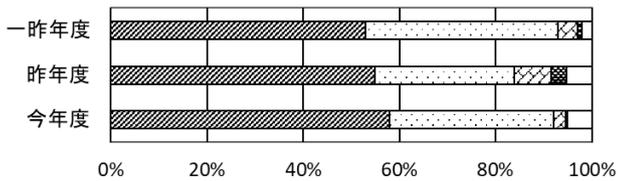
□わたしは、そうじや給食当番のしごとをいっしょけんめいしています



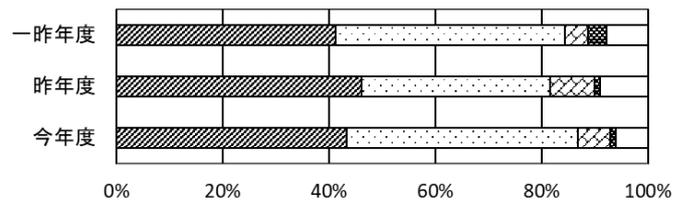
△学校は学校公開週間や懇談などを通して、学校の様子を伝えようとしている



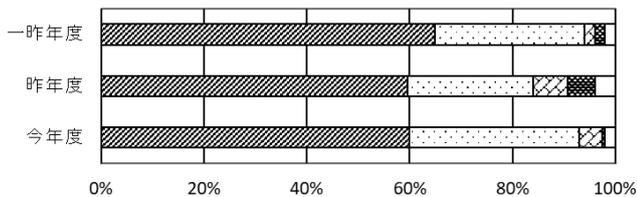
◎わたしは、学校やクラスのきまりを守っています



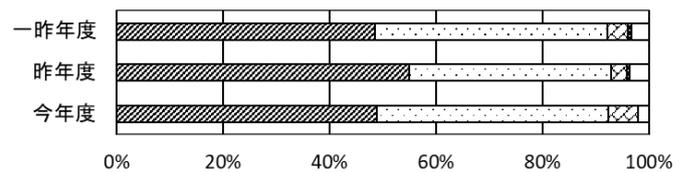
◎学校は誠意をもって対応したり、相談に応じたりしている

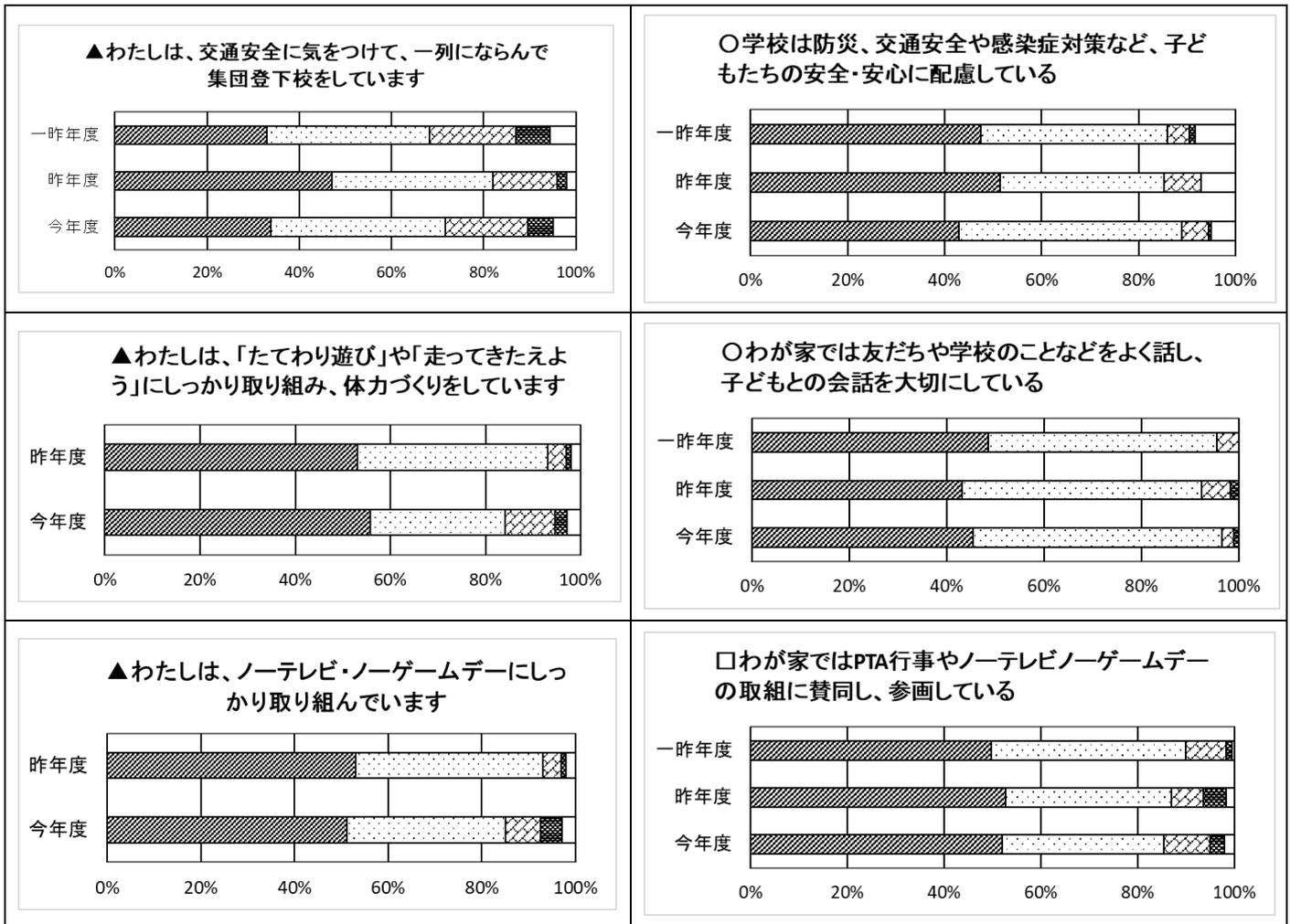


◎わたしは、クラスや学年、全校などみんなで集まったとき、しっかり話を聞いています



□学校は教育方針や教育計画など「布引だより」や「学年だより」などの通信やHPでわかりやすく伝えようとしている



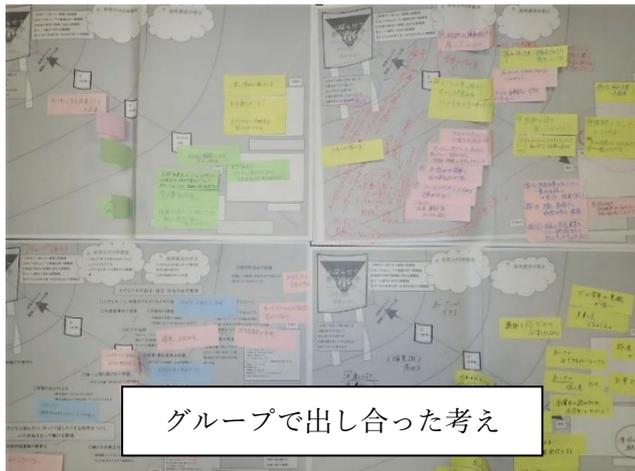


**アンケート結果から**

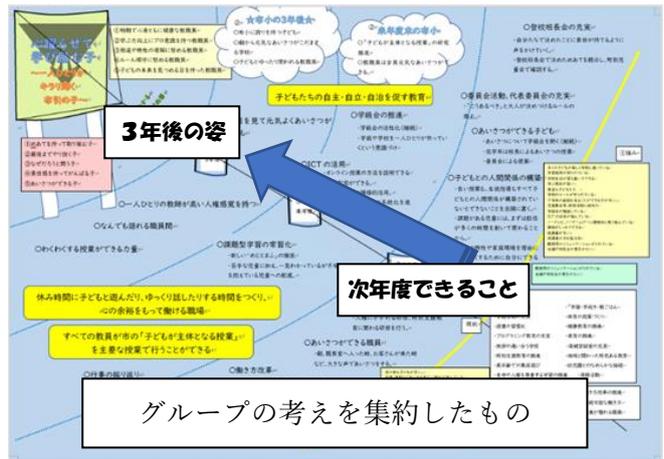
- ①学校教育目標に掲げた「学校が楽しい」と肯定的に答えた児童が91.7%と目標を達成した。しかし4.2%約10人の児童は否定的なので、そういった子どもたちに配慮をしていかななくてはならない。
- ②「めざす布引っ子のすがた」に掲げた「あいさつができる子」については、子どもたち自身でも、保護者の方も「良くなってきた」と捉えている。しかし、未だにあいさつができない児童も多い。
- ③「授業中めあてをもって取り組む」「わからないことや不思議に思ったことを聞いたり調べたりする」の肯定的評価の伸びから、学習意欲の向上が伺える。反面「あきらめずに取り組む」子どもの割合が減少した。
- ④「仕事をしっかりする」「朝読書やスキルアップにしっかり取り組む」「いじめのないクラスになるよう気を付けている」「きまりを守っている」「係活動、クラブ、委員会活動にがんばって取り組んでいる」などの自主的な活動に関わる質問に対して肯定的に答える児童が増えた。
- ⑤地域の人材など教育活動に生かしていないと感じている保護者の方が増加している。
- ⑥登下校に関しては子どもたち自身の評価が昨年度よりも低い。
- ⑦体力づくりについて2極化傾向が強くなりつつある。

**考察**

今年度も、学校評価、全国学力・学習状況調査をもとに、職員で3年後の布引小学校はどんな姿が望ましいかをまず出し合い、そうなるためには次年度からどういう行動を起こしていけばよいかをグループに分かれて話し合いました。



グループで出し合った考え



グループの考えを集約したもの

- ①「学校が楽しい」と答える児童が目標の90%を超えました。学校として一番大切にしていきたい指標なので、次年度も90%の目標を掲げます。授業力の向上と自治を促す教育は、8.3%の「楽しくない」と答えた児童が「楽しい」と答える大きな手立てと考えています。
- ②あいさつについては、子どもに対しても、お客さんに対しても、教職員も率先して大きな声であいさつすること、昨年度行っていた校長の挨拶の授業を低学年で行うこと、本校の強みである学級活動を生かして、あいさつについて考える学級会を開くこととしました。
- ③学習意欲の向上は伺えるので、子どもが学習のめあてを決め、その問題を解決していく授業（市が掲げている学力向上プランに沿った学習）を、全教職員が意識してできるようになることを目指します。
- ④代表委員会、各委員会活動、学級会など子どもたちが主体的に進める自治的な活動が活発になってきました。子どもたちから学校をよくするための提言も出始めたのは大変喜ばしいことです。そういった芽を伸ばしていけるよう次年度も自主・自立・自治を促す教育に力を入れていきます。
- ⑤地域の人材は、地域コーディネーターの方がたくさん見つけてくださり、ことあるごとにご協力をいただいています。また、警察署や消防署と連携した取組も行いました。地域の講師をお招きしたときは、ほぼブログに載せていますのでご覧ください。
- ⑥登下校に関しては、今年度から「登校班長会」を立ち上げました。班長同士、課題を出し合って目標をきめています。今年度も、修正を重ねながら「登校班長会」を実行力のあるものに高めています。

この後、「学力向上部会」と「くらし部会」に分かれて集約したものをもう一度修正し、次年度のグランドデザイン、学校目標へとつなげます。また、提出していただいた学校評価は、記述欄も含めすべて学校評議員会で公開し、評議員様からも提言をいただきます。